

令和3年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（10月～12月）

10月

＜総合型クラブ創設支援研修会＞

美浜町で創設支援研修会が開かれました。まずは、総合型クラブについて知ってもらい、視野を広げてもらえるよう、お話をさせていただきました。

これまで県内各所で総合型クラブについてお話をさせていただいていますが、話す場所の地域性を意識しています。町の状況やスポーツ環境、盛んな競技種目や指導者、学校…この地域ではどんなアドバイスが有効なのかを考え助言や提案をしています。また、地域のスポーツ振興に尽力を注いでいる方（キーパーソン）と、何度も交流をもち、関係を築くようにしています。

今回のお話が、誰かの火種（きっかけ）になりますように！



＜総合型クラブ巡回＞

県の職員と、広域スポーツセンターの職員とで各市町の総合型クラブを巡回しました。状況の聞き取りと課題の共有を行い、クラブアドバイザーとして様々な角度から助言や提案をさせていただきました。コロナ禍が少しずつ緩和され、大会が開かれたり、交流の場が増えたり、スポーツ活動も再開できるようになってきました。活動の様子も見せてもらいましたが、活気が少しずつ戻っているのを肌で感じる事が出来ました。一方、運営面で悩みを抱えるクラブが多かったように感じます。他クラブのアイデアや事例などの情報提供を行い、不安や悩みが少しでも解消できるように、連携は密にとってまいります。



各クラブ、少しずつスポーツ活動ができるようになってきて、活気が戻ってきたように感じます。

＜令和3年度生涯スポーツ功労者の受賞決定！＞

文部科学省では、地域または職場におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ関係者を「生涯スポーツ功労者」として表彰しています。

今年度、大野市の総合型地域スポーツクラブ「みんスポクラブ」の小嶋ちづるさんが「生涯スポーツ功労者」を受賞されました。クラブ設立時から運営に携わり活躍されている方です。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から表彰式が中止となったので、総合型クラブ県連絡協議会で表彰式を行いました。益々のご活躍を祈っております。



生涯スポーツ功労者の受賞、おめでとうございます！

＜新たなクラブ設立を目指して！＞

今後新たに総合型クラブの設立が見込める地域を訪問してきました。地域の状況を伺うと、少子高齢化、学校統合、スポーツ施設の取壊しや改修があり、団体競技はチームが組めない、活動できる競技種目が少ない等の課題がありました。

子どもたちが地域でスポーツをしたいと思ったときに、活動できる環境を作りたい。総合型クラブはその環境づくりのひとつであることをアピールし、地域や行政、スポーツ関係者に伝え、連携・協力してもらえるよう活動を続けていきたいです。

この日は、小学校で心のバリアフリー教室と障がい者スポーツ体験会が開かれていました。



12月

＜福井県スポーツ意見交換会＞

地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業の一環で、福井県スポーツ意見交換会が開かれました。私は進行役として各市町と各団体の意見の取りまとめを行いました。

会では、地域スポーツ（=総合型クラブやスポーツ少年団など）について課題を共有し、スポーツ推進の方向性を再確認しました。

今後、中学部活動の地域移行や少子高齢化など、地域課題が増えていくことが予想されます。地域スポーツと行政の関わり方は各々違うので、すぐに解決することは難しいですが、総合型クラブがスポーツ環境整備の一役を担う道標となるように、引き続き各方面に働きかけを行っていきたいと思います。



坂本健二さんに、「総合型地域スポーツクラブを軸に考える、ドイツと日本のスポーツ事情の違い」をテーマに講演していただきました。総合型クラブが地域にもたらす影響を総合型クラブの先進国ドイツを例に分かりやすく教えていただきました。



＜総合型クラブ育成支援視察研修会＞

令和3年度総合型クラブ育成支援視察研修会で岐阜県羽島市にある「はしまなごみスポーツクラブ」に行ってきました。休日の部活動を運営しているクラブです。県内クラブ関係者も多く参加し、関心の高さが伺えました。行政や学校との連携の取り方や成果、課題など沢山お話を聞かせてもらいました。



県内でも、部活動の地域移行に関する取り組みを始めようとしていますが、子ども達のことを第一に考えていかなければならないと思います。まずは、クラブが受け皿として対応できるように、子どもたちのニーズや地域に合った教室作りなどを考え、準備しようと思います。